

令和4年1月

1

特別な配慮を要する子どもの育ちと学びをつなぐために
- 保護者向け資料編 -



茨城女子短期大学 准教授 梶井 正純



特別な配慮を要する子どもの育ちと学びをつなぐために

本日の内容

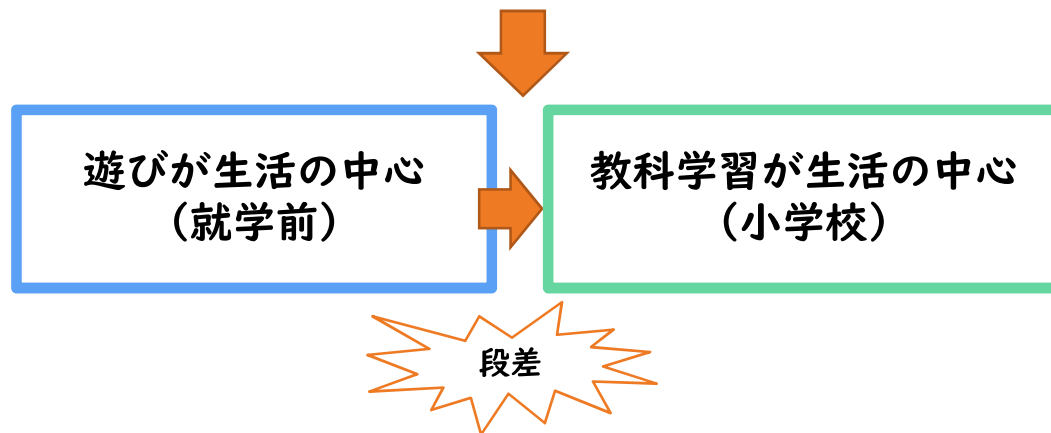
一 移行期の課題・移行支援について

二 小学校入学前サポートシートの紹介



Ⅰ 移行期の課題・移行支援について

幼児期（幼稚園・保育所・こども園等）



自制心や耐性、規範意識が十分に育っていない、教室において45分間の学習に集中できない、授業が成立しない（小1プロブレム）

移行期の支援とは

合理的配慮を必要とする子どもと保護者が合理的配慮の継続性を確保するとともに、これまでの配慮への見直しにより適切な配慮を求めることができるようにすること

保護者（本人）の不安を解消するとともに、就学先や配慮内容の合意に関与することにより、子どもと保護者の自立性を確保するものである

<ポイント1>

就学前段階での早期発見・早期支援について

幼稚園・保育所等の担当者は生活や遊びの様子を通して学習面や行動面における合理的配慮が必要なことに早期に気づくことが可能（二次的障害を未然に防ぐことにつながる）

専門家の活用

保護者との信頼関係づくり

やりとりを重ねる中で信頼関係を築けるようにする

子どもが園と家庭で見せる状態が大きい・・・

家庭では園のような集団行動の場面はありません。子どものペースで行動しても問題にならないことが多い。

現在の取り組みを伝え、今後の現実的な対応策を検討できるようにすること

困っているのは周りの人間だけでなく、本人も困っている様子が見られる



障害名ではなく、本人が「困っている」ということを伝えることが大切である



<ポイント2>

確実な情報引き継ぎシステムの活用

必要に応じて教育・医療・福祉・保健・労働などの各分野との連携を図ること

例

支援ファイル

個別の教育支援計画

小学校入学前サポートシート



《絵本室の本棚》

まずはできることから認めてあげることのできる支援を

- × 絵本と棚に同じ色のシールを貼ることで、もとの場所へ返却することができる。



太子町における合理的配慮についてより抜粋

<https://www2.osaka-c.ed.jp/fujidera-y/6d78cb140f62cf2f477f0621a708b4a0.pdf>



《保育室、遊びコーナーの棚》

まずはできることから認めてあげることのできる支援を

- × 粘土ローラーや、セロテープ、ブロックやパズルなど、遊びコーナーの棚に写真や文字をはることで、必要な物を見つけやすく、片づけもスムーズに行うことができる。



《お道具箱》

まずはできることから認めてあげることのできる支援を

- × お道具箱の底にイラストを描いた紙を敷くことで、はさみやのり、
- × クレパスを整理して置くことができる。



インクルーシブな視点で

インクルーシブ (inclusive) 「包括的な」「すべてを含んだ」とする意味



どんな人に対しても肯定的に見ようとする
目が重要である。(すべての保育者)



個別の支援プランを検討する前に

支援プランはその子の実態を見て、1人で考えるより、複数の目で見ている教員で検討する方が良い。



保護者の皆様、 個別の教育支援計画 をご存じですか？

発達の違いなどから学習面や生活面において
支援を必要としているお子さんが、何に困っているかを見極め、
どのような支援が必要かを、たくさんの人と共に考え作成していくのが、
個別の教育支援計画です。

個別の教育支援計画を活用することで…

幼稚園や学校、看護機関、支援者等とつながり、乳幼児期から学校卒業時まで、お子さんをみんなで支えていくことにつながります。

病院や療育機関、学校等、関係する機関と一緒に、支援内容を考えるので、調整にわたっての一貫した支援の展開しやすくなります。

これまでの支援の記録が記載されており、学校や学級が変わっても必要な情報が引き継がれ、安心して通級や進学ができます。

★取扱いについては？ 個別の教育支援計画は、本人・保護者の了解を得た上で、関係機関等が情報の取扱いに留意して活用しています。

★作成するには？ まずは、担任の先生、市町村教育委員会にご相談ください。

お問い合わせ先 茨城県教育庁学校教育部特別支援教育課指導担当
〒310-8588 水戸市笠原町978番6 Tel.029-301-5280

個別の教育支援計画の項目例

個別の教育支援計画の様式は、各学校（園）や市町村等の実情、本人の状況等を踏まえて検討し、作成や活用がしやすいものになっています。以下に、項目例と説明を示します。

- 本人・保護者の願いと支援の方針**

	本人・保護者の願い (部、類)、要望など)	支援の方針
生活面	友達と仲良くしたい。 物事に進んで取り組んでほしい。	・目標の中の一員として人との付き合い方を増やし、自分の気持ちや意見を相手に分かるように伝える。 ・自分の好きなことや得意なことを増やし、自信をもって物事に取り組みのめりをもたせる。
学習面		本人や保護者に願っている支援の方針を決めています。
- 本人に関する基本情報**

氏名	内容等
乳幼児期の経緯 就学後の療育の状況 就学制度の内容等	3歳から〇〇市の療育センターで、言葉と運動に関わる個別指導を受けている。

乳幼児期の状況等について、共通理解が必要な内容等があれば、記載しておきます。
- 学校における合理的配慮**

教育機関	合理的配慮者	課題、対策等
<input type="radio"/> 幼稚園	手紙の送り方に対して、文字の読み書きを促した手紙に代わって、どのような活動をするかは、取り返しの期間を確保する。	本人が考え、適切な配慮がとれるように配慮を依頼し、他校との連携がよくなったこと、小学校でも、継続して支援すると効果的と考えた。
<input type="radio"/> 小学校		通級や進学するときに、合理的配慮等必要な情報が引き継がれるように記載していきます。
<input type="radio"/> 中学校		十分な教育を受けられるようするために、合理的配慮の適切な詳細を打ち、実態に見合わせていきます。
<input type="radio"/> 高等学校等		

【参考】 各学校における合理的配慮の観点

3観点	11項目
教育内容・方法	1 教育内容 ・学習上又は生活上の困難を改善・克服するための配慮 ・学習内容の変更・調整 2 教育方法 ・授業・コミュニケーション及び教材の配慮 ・学習機会や体験の確保 ・心算・計算の配慮
支援体制	1 専門性のある指導者の確保 2 他校の指導員、教職員、保護者、地域の理解者等関与するための配慮 3 緊急時等の支援体制の確保
施設・設備	1 校内環境のバリアフリー化 2 発達、障害の状況及び特性等に合わせた教材ができる施設・設備の確保 3 医療機関等への対応に必要な施設・設備の確保

学校における合理的配慮の観点をふまえて、現行の「合理的配慮」に何が、何を優先するかなどについて本人・保護者と十分に話し合い、具体的な支援内容・方法を明確にしていきます。

- 関係機関等による具体的な支援内容**

関係機関等	支援内容	評価、引継ぎ事項等
<input type="radio"/> 特別支援学校	個々の生活の様子を観察し、ケースバイケースで支援内容を調整する。	本人の理解や身体的な状態について、校内で共通理解が深まると、学校で実施可能な支援がはじまると、授業の調整がうまくいった。
<input type="radio"/> 病院	生活の様子から、健康の調整をする。(〇年〇月 ADHD の診断)	個々の生活の様子を伝えることにより、健康の調整がうまくいった。 ・小学校でも、学校での様子について医療機関と連携してほしい。
ボランティア 保護者		・生活を充実させるために、関係機関の役割(支援内容)を明確にします。

2 小学校入学前サポートシートの紹介

子どもが小学校での環境にスムーズに
適応し、安心して生活することが出来
るようになるためのツールとして開発



現在は第5版、某幼稚園・小学
校の教員合同検討会議で各項目
の見直し実施した。
(2019年5月)



小学校入学前サポートシート第5版の作成 梶井（2020）



障害のある子に限定しない全ての保護者（子ども）を対象とし
た「小学校入学前サポートシート」（保護者記入用；第5版）
を作成した。

*引き継ぎの際に活用した保育者や小学校教諭、記入した保護者に対し、本シート
のニーズを明らかにすることについて現在調査中



小学校入学前サポートシートを活用するにあたって

「小学校入学前サポートシート」は、お子さんが小学校での環境にスムーズに適応し、安心して生活することができるようにするためのツールです。得意なことを一つでも多く見つけ、それを伸ばすことができる環境を用意することを目的としているため、すべての保護者を対象としています。これまでのご家庭での取り組みや園での生活状況をご記入頂きたく存じます。

<製作スケジュール>



*療育機関等については、相談等を受けているのであれば、協力を依頼してご記入いただければと思います。

<問い合わせ先>

<住所> 〒311-0114 茨城県那珂市東木倉 960-2
 <TEL> 029-298-0596 茨城女子短期大学保育科 担当 梶井 正紀



小学校入学前サポートシート（保護者用） ～保幼小のスムーズな接続のための支援ツール～

<記入方法>

- ① 小学校に伝えておいてもらいたいことや配慮してほしいことを記入します。すべての項目にご記入ください。
- ② 保育所（園）・幼稚園・療育機関等と相談して記入する場合には必ず担当職員の名前を記入してください。

幼児名	ふりがな
保護者名	
担当職員名	機関名（ ） <small>療育機関等と相談して記入する場合には記入</small>
住所	〒

- 1 小学校で自信をもって生活を行うためにも現在のお子さんの「学びに向かう力」についてご記入ください。「はい」、「どちらでもない」、「いいえ」を○で囲んでください。

*保護者記入欄につきましてはできる限りご記入ください。

項目	保護者記入欄		
自分の名前を書くことができる。	はい	どちらでもない	いいえ
自分の考えを相手に伝えたり、相手の考えを聞いたりすることができる。	はい	どちらでもない	いいえ
数字を1から10まで数えることができる。	はい	どちらでもない	いいえ
工夫して遊ぶことができる。	はい	どちらでもない	いいえ
走る、スキップ、跳ぶ、投げなどの動作ができる。	はい	どちらでもない	いいえ
見たものを形として捉えることができる。	はい	どちらでもない	いいえ

- 2 小学校で自信をもって生活を行うためにも現在のお子さんの「生活上の自立」についてご記入ください。

項目	保護者記入欄		
自分で衣服（ボタン）・靴の着脱ができる。	はい	どちらでもない	いいえ
1人で食事ができ、箸を使うことができる。	はい	どちらでもない	いいえ

<主な項目>

幼児名、保護者名、担当職員名、住所、「学びに向かう力」、「生活上の自立」、「心の成長」、小学校に伝えておきたいこと、保護者の氏名・同意印

各項目については、保幼小接続カリキュラムの「幼児期の終わり～小学校入学期」の目指す姿を参考に作成



大便が1人ででき、手を洗うことができる。(衛生面)	はい	どちらでもない	いいえ	
あいさつや返事ができる。	はい	どちらでもない	いいえ	
ルールを守って生活することができる。	はい	どちらでもない	いいえ	
自分の物と友達のものとの区別ができる。	はい	どちらでもない	いいえ	

3 小学校で自信をもって生活を行うためにも現在のお子さんの「心の成長」についてご記入ください。

項目	保護者記入欄			
自信をもって意欲的に取り組むことができる。	はい	どちらでもない	いいえ	
大人や友達との約束を守って行動することができる。	はい	どちらでもない	いいえ	
気持ちをコントロールして活動することができる。	はい	どちらでもない	いいえ	
「ありがとう」などの感謝の気持ちを相手に伝えることができる。	はい	どちらでもない	いいえ	
特定の音や匂い、人ごみなど気にせずに行動することができる。	はい	どちらでもない	いいえ	
友達とつながりを持ち、遊びの中で充実感・達成感を味わうことができる。	はい	どちらでもない	いいえ	

<小学校に伝えておきたいことがあればご自由にお書きください>

*お子さんの実態を記入することで、小学校での成績に関係するものではありません。連携を図るためのサポートツールです。ご協力宜しくお願いします。

小学校入学前サポートシートを小学校へ引き継ぎ情報を共有することに同意します。

令和 年 月 日
保護者氏名 印
<作成者> 茨城女子短期大学 梶井 正紀

<確認事項>

- ①特別な配慮を要するお子さん用として記入を依頼するものではないこと。
- ②全保護者を対象にしているものであること。
- ③小学校の教員が子どもの得意なことを一つでも多く見つけ、それを伸ばすことができる環境を用意する為にも重要なツールであること。



▶ご清聴ありがとうございました



参考文献・資料等

- ・井村圭壯他『現代の障がい児保育』2016年, 学文社
- ・独立行政法人国立特別支援教育総合研究所 (インクルDB)
http://inclusive.nise.go.jp/?action=inclusive_action_main_download&upload_id=1899&file_id=1702&t=1519730386289
- ・相澤雅文他『「個別の指導計画」の作成と活用』2010年, 株式会社クリエイティブかもがわ
- ・中村忠雄『はじめてつくる「個別の指導計画」』2008年, 明治図書株式会社
- ・合理的配慮イメージ図 <http://magicaltoybox.org/kinta/2016/05/17/13239> (令和3年7月24日確認)
- ・七木田敦編者他『実践事例に基づく障害児保育』2011年, 保育出版社
- ・文部科学省特別支援教育について第3章 地域における一貫した相談・支援のための連携方策
http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/tokubetu/material/021/004.htm (令和3年7月24日確認)
- ・汐見稔幸、武藤隆『保育所保育指針 幼稚園教育要綱 幼保連携型認定子ども園教育・要領解説とポイント』, 2018年, ミネルヴァ書房
- ・坂本裕編著『合理的配慮をつなぐ個別移行支援カルテ』2017年, 株式会社明昌堂
- ・水野智美『こうすればうまくいく! ADHDのある子どもの保育イラスト
ですぐにわかる対処法』2017年, 中央法規出版
- ・水野智美『こうすればうまくいく! 自閉症スペクトラムのある子どもの保育イラストですぐにわかる対処法』,
2017年, 中央法規出版
- ・七木田敦編者他『実践事例に基づく障害児保育』, 2011年, 保育出版社
- ・汐見稔幸、武藤隆『保育所保育指針 幼稚園教育要綱 幼保連携型認定子ども園教育・要領解説とポイント』, 2018年, ミネルヴァ
書房
- ・梶井正紀『「移行期」における保・幼・小連携に関する調査とその結果-「小学校入学前サポートシート」作成のために-』2020年, 茨城女子短期大学紀
要第47集
- ・藤坂 龍司, 松井 絵理子他『イラストでわかる ABA実践マニュアル: 発達障害の子のやる気を引き出す行動療
法』2015年, 合同出版
- ・松浪健四郎、藤田圭一監修他『特別支援教育』2021年、株式会社中山書店
- ・是枝 喜代治他「幼児期における特別なニーズのある子どもの支援に関する研究」2018年、東洋大学ライフデザイン学部
- ・斎藤遼太郎他「保幼小連携と特別支援教育に関する文献検討」2017年、東京学芸大学紀要、総合教育科学系

